

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		1

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・全員での取組みがみられる。

【前回の改善計画に対して意見】

前回の改善計画 ・ 職員間で利用者の情報共有を図り、気持ちや希望など思いを汲み取り職員全体で統一した取組みを行う。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・職員間で話し合いは沢山して、利用者さんの気持ちも分かって取組みをしていると思う。
- ・職員間で情報交換もでき、職員全体で統一した対応に努めている。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・ファイルの改善やホワイトボードの活用等具体的に行っていたと思います。
- ・防災訓練も色々と考えて訓練を実施している事が分かった。
- ・小学校の見守り活動も継続している事も分かって良かったです。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・職員間での話し合いも頻回に行っていたように思う。
- ・自己評価に個々の職員が厳しく評価を行っていると思う。

【改善計画】※後日記入

- ・事業所自己評価シートの目標を事業所内に張り出して、ミーティング時に確認をして話し合う。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・利用者さんは、ゆっくりと過ごしていた。
- ・暖かく過ごしやすかった。

【前回の改善計画】 家族や地域住民が入りやすく、安心して過ごすことができる環境を整える。

- ・入って行くと職員の笑顔があり、いい雰囲気でした。
- ・フロアも明るく利用者も落ち着いて過ごしている。
- ・利用者の人も自由に過ごしている姿が見られた。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・気温も過ごしやすいように設定されているのが良かった。
- ・季節を感じるしつらえにもなっていた。
- ・小規模のしつらえは綺麗になっていた。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・利用者・家族・地域の方々が来所時は安全に楽しく過ごしてもらえる環境を整える。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の活動にも参加している事が分かった。
- ・地域への貢献もされている様子がよくわかった

【前回の改善計画】 今まで行っている地域活動以外の地域との関わりの場を検討し地域との、結びつきを深めていく。

- ・地域包括支援センター主催の健康体操講座に参加して地域の人との関わりと話もできた。
- ・地域の介護予防教室に参加している様子も分かった。
- ・認知症家族介護教室に参加して家族と一緒に交流を図る事が出来た。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域のゴミを拾おうと、職員の方から意見が出る事はとても素晴らしいことだと思います。
- ・相談ごとは地域包括支援センターにと言われるが、どこの地区がどこに行けばよいのか。
地域包括支援センターの管理者から、他の地域からの相談事は受付けるが、住まいの包括支援センターにつなげる
ことになっている。

【改善計画】※後日記入

- ・自治会や地域包括支援センターに声掛けし地域活動に参加していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・四季を通じてのドライブ等で外出に参加している。
- ・住み慣れた地域や自宅で移動スーパーを利用しながら支援を行っている。
- ・地域包括支援センターの主催健康講座・健康体操教室に定期的に利用者と職員が参加している。

【前回の改善計画】 事業所・地域包括支援センター等で情報収集し、家族や本人の意向を尊重しながら外出出来る機会を作り、地域や季節を感じられるような取り組みを行う。

- ・広田小学校 PTA 主催の鍋田地下道清掃に利用者・職員が参加できた。
- ・事業所主催の太閤山ランド紫陽花祭りに参加し利用者の楽しむ姿が見られた。
- ・地域の花を見にドライブにでかける。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・地域包括支援センターの主催の健康講座・健康体操教室に地域の方々と一緒に時間を過ごす。
- ・地域の中で生活をしていても、利用者の方は地域活動に参加が難しい様子。

【改善計画】※後日記入

- ・事業所・地域包括支援センターとも情報を共有し、定期的に行事やイベントに参加出来るようにしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4		3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議を通じて地域の方々も心配事を抱えて生活している事が分かった。
- ・地域の方々と一緒に行事（介護教室）に参加している様子も分かった。

【前回の改善計画】 ・運営推進会議内で継続して事例検討会を行い、運営推進会議で出た意見は事業所内で周知検討し改善につなげる。

- ・運営推進会議内の事例検討会で、生活の様子と事業所の関わりが理解できた。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・委員の方より今は守秘義務があり、民生委員同士でも話し合い、相談事が出来なくなった。

【改善計画】※後日記入

- ・定期的に現場の職員も運営推進会議に参加し、地域の取り組みを知る事で事業所として何が出来るかを考える。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4		3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	1	2
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災訓練（非常階段に洪水の最大浸水高さの目印の設置）
- ・定期的に防災訓練を実施している事が分かった。

【前回の改善計画】 継続して防災訓練時地域の参加を呼びかける。

- ・地域の方々に防災訓練の参加を呼びかける事が出来なかった。
- ・消防の防災計画は市に提出義務と伝える。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・なごみは福祉避難所に指定されているが、市役所からは最初に避難する場所は一時的避難所にしてほしいと要望あり。
- ・委員の方より上赤江町・下赤江町は広田校区になっているが線路を超えないこと避難できないので、近くの避難場所を要望している。

【改善計画】※後日記入

- ・業務継続計画の見直し（感染・災害時）シミュレーションの訓練を継続していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 相幸福社会	代表者	相澤 実希	法人・ 事業所 の特徴	一人ひとりの生き方を尊重し支援するため、自己決定を大切にし、利用者一人ひとりの声に耳を傾け、希望や思考にそった過ごし方の実現に努めています。また、住み慣れた地域で専門スタッフに見守られながら、安心、安全な環境の中でゆっくりと充実した日々が送れるよう支援しています。
事業所名	小規模多機能型居宅 なごみ	管理者	辰尾 起子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	0人	2人	1人	人	7人	1人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員間で利用者の情報共有を図り、気持ちや希望など思いを汲み取り職員全体で統一した取り組みを行う。	・日頃からの関わりの中から職員個々の取り組み方の違いにより統一した取り組みまで出来なかったが、職員間で話し合いは釈山でできた。	・ファイルの改善やホワイトボードの活用等具体的にやっていったと思います。 ・防災訓練も色々と考えて訓練を実施している事が分かった。 ・小学校の見守り活動も継続している事も分かって良かったです。	・事業所自己評価シート of の目標を事業所内に張り出して、ミーティング時に確認をして話し合う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・家族や地域住民が入りやすくなり、安心して過ごせる環境を整える。	・居心地の良い環境作りには音楽等を利用したり、テーブルの配置に気を付けて利用者の方々に自由に過ごしてもらおう事ができた。 ・施設内で知らない人等を見かけたときには職員から声をかけようにて心がけている。	・入って行くくと職員の笑顔があり、いい雰囲気良かった。 ・気温も過ごしやすいうように設定されているのが良かった。 ・季節を感じるしつらえにもなっていた。 ・小規模のしつらえは綺麗になっていた。	・利用者・家族・地域の方々から来所時は安全に楽しく過ごしてもらえる環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	・今まで行っている地域活動以外の地域との関わり場の場を検討し地域との、結び付きを深めていく。	・地域包括支援センター主催の健康体操講座に参加して地域の人との関わりを深めていた。 ・地域の介護予防教室に参加していた。 ・認知症家族介護教室に参加して家族と一緒に交流を図る事ができた。	・地域のゴミを拾おうと、職員の方から意見が出る事も素晴らしいことだと思います。 ・相談ことは地域包括支援センターに言われるが、どこかの地区で行けばよいのか。 ・地域包括支援センターの管理者から、他の地域からの相談事は受け付けているが、その方の担当包括支援センターにつなげることになっている。	・自治会や地域包括支援センターに声掛けし地域活動に参加していく。
D. 地域に外向いて本人の暮らしを支える取り組み	・事業所・地域包括支援センター等で情報収集し、家族や本人の意向を尊重しながら外出出来る機会を作り、地域や季節を感じられるような取り組みを行う。	・広田小学校 PTA 主催の鍋田地下道清掃に利用者・職員が参加できた。 ・事業所主催の太閤山ランニング祭りに参加し利用者の楽しむ姿も見られた。 ・地域の花を見にドライブにでかけている。	・地域包括支援センターの主催の健康講座・健康体操教室に地域の方々と一緒に時間を過ごしていた。 ・利用者の一部の方で地域との関係が希薄な方がいる。地域の活動に参加が難しい様子が見られる。	・事業所・地域包括支援センターとも情報を共有し、定期的に行事やイベントに参加出来るようにしていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・運営推進会議内で継続して事例検討会を行い、運営推進会議で出た意見は事業所内で周知、検討し改善につなげる。	・運営推進会議内の事例検討会で、生活の様子事業所の関わりかたで委員の方よりアドバイスが聞けた。	・委員の方より今は守秘義務があり、民生委員同士でも話し合い、相談事が出来なくなかった。	・定期的に現場の職員も運営推進会議に参加し、地域の取り組みを知る事で事業所として何が出来るかを考える。
F. 事業所の防災・災害対策	・継続して防災訓練時地域の参加を呼びかける。	・地域の方々に防災訓練の参加を呼びかける事が出来なかった。	・なごみは福祉避難所に指定されているが、富山市は最初に避難する場所は一時的避難所となっている。 ・委員の方より上赤江町・下赤江町は広田校区になっているが線路を超えないこと避難できないので、近くの避難場所を要望している。	・業務継続計画の見直し（感染・災害時）シミュレーションの訓練を継続していく。